



「食品リサイクルは命をつなぐ環」

地球にやさしいお買い物をとおして持続可能な社会をめざす

ユニー株式会社 CSR部
花井 彩由実



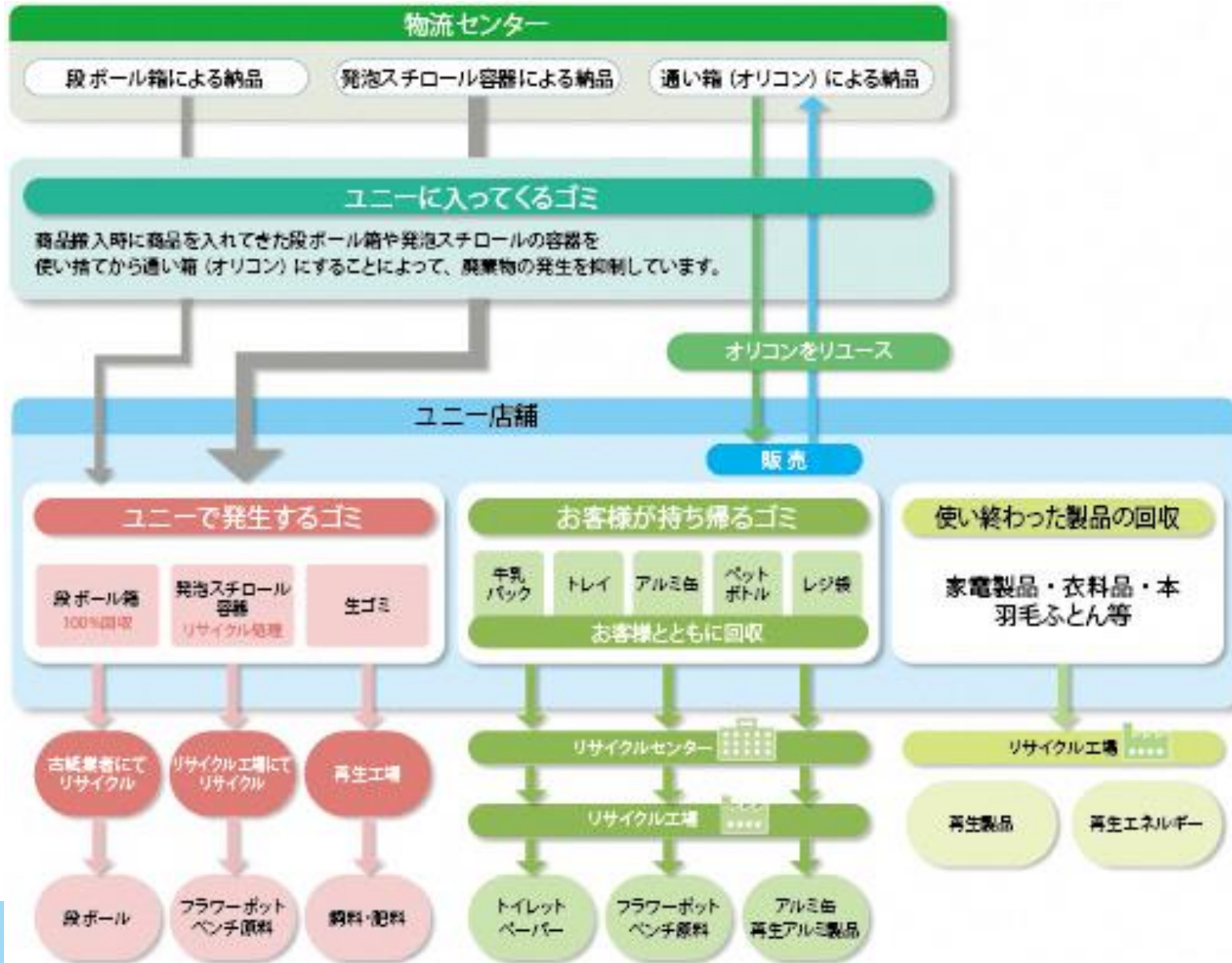
消費者に一番近くで企業活動をしているスーパーは、
低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現した持続可能な社会の構築を目指しています。



持続可能な社会・・・現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、人間や地球の生きものが共存していく社会を構築していくこと、この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。

営業活動から発生する廃棄物・・・発生抑制・リサイクル推進の取り組み

廃棄物の発生と資源化



営業活動から発生する廃棄物・・・発生抑制・リサイクル推進の取り組み

- 分別・・・リサイクル資源として活用するために素材毎に分けること
- 計量・・・廃棄物発生状況を把握し、発生抑制効果を測定すること



循環型社会を目指して

廃棄物発生量

◆2016年度廃棄物排出量

廃棄物の分別・計量により排出量が削減できています。

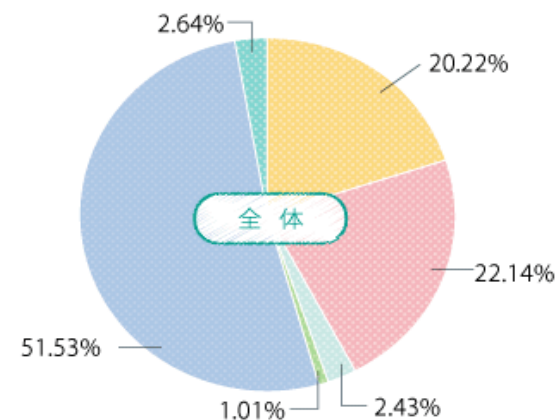
◆廃棄物排出量

(単位:kg)

区分	種類	2014年度	2015年度	2016年度	前年比[%]	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,990,222	12,086,549	11,879,030	98.30%
		ビニール(食品系)	4,053,758	4,084,461	4,061,951	99.40%
		小計	16,043,980	16,171,010	15,940,981	98.60%
	食品ゴミ	生ゴミ	13,981,999	13,722,833	13,226,350	96.40%
		魚のアラ	2,236,762	2,088,226	2,067,399	99.00%
		てんかす	964,119	981,157	961,169	98.00%
		廃食用油	1,249,435	1,233,678	1,198,550	97.20%
		小計	18,432,315	18,025,894	17,453,468	96.80%
		不燃ゴミ	ビン	1,223,503	1,395,634	1,474,210
	缶	470,864	446,920	442,294	99.00%	
小計	1,694,367	1,842,554	1,916,504	104.10%		
発泡スチロール		829,406	823,188	798,734	97.00%	
段ボール および 再生紙	段ボール	39,826,230	39,175,684	38,181,463	97.50%	
	紙類(再生可)	2,507,907	2,459,340	2,438,552	99.20%	
	小計	42,334,137	41,635,024	40,620,015	97.60%	
その他	プラスチック	439,724	428,814	422,856	98.60%	
	ビニール(衣住系)	888,302	866,917	869,186	100.30%	
	ペットボトル	378,632	415,764	450,734	108.40%	
	陶器・ガラス	107,877	107,794	104,517	97.00%	
	金属カス	138,154	145,619	146,069	100.30%	
	その他	106,833	96,008	93,809	97.70%	
	小計	2,059,522	2,060,916	2,087,171	101.30%	
合計		81,393,727	80,558,586	78,816,873	97.80%	

◆廃棄物構成比率

- 焼却ゴミ
- 発泡スチロール
- 食品ゴミ
- 段ボールおよび再生紙
- 不燃ゴミ
- その他



<廃棄物処理費は排出者負担です>

毎月店舗毎に排出量を集計して、テナント・コンセッションナリー毎に処理費(リサイクル費)を負担してもらっています。

廃棄物を削減するとコスト削減に
商品ロス削減で利益確保に



スーパーから排出される未利用食品

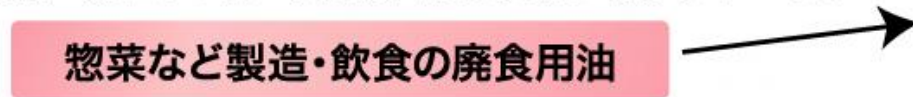
未利用食品の発生原因

- スーパーでは市場や生産地から生鮮食品が搬入され、売り場に出すために調理します。

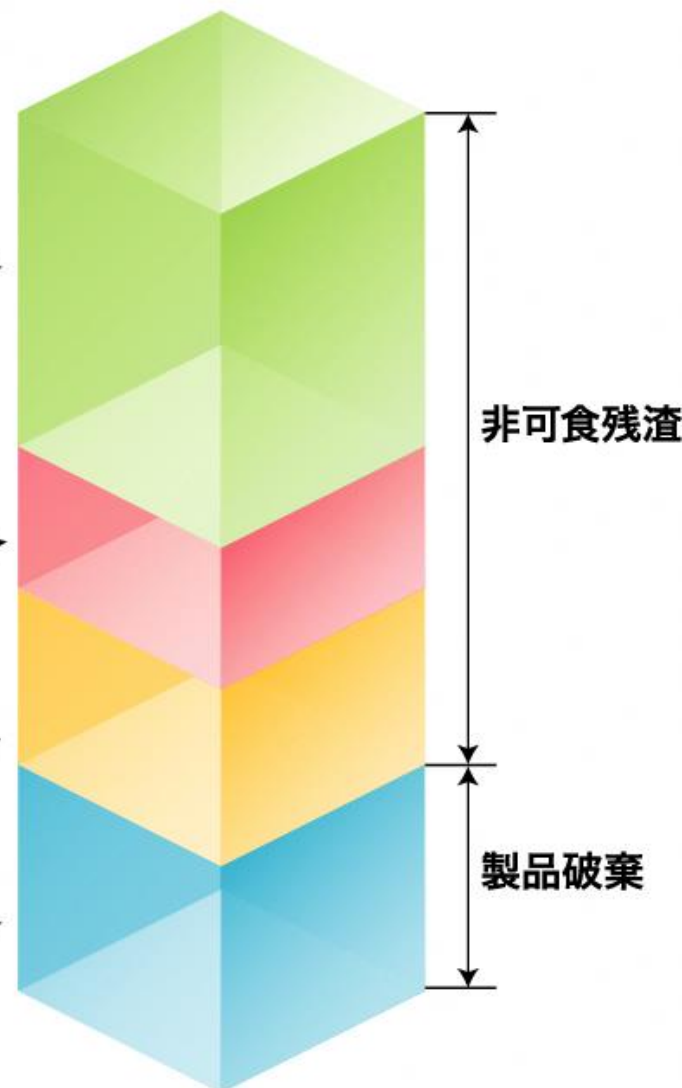
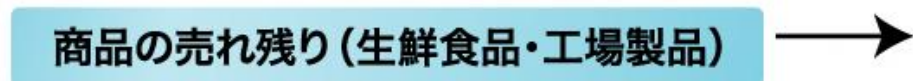
その時に排出する、野菜クズや魚のアラ、精肉クズなど。



- また惣菜やパンなど店内で製造する際、飲食店で調理する際に使用済み廃食用油が排出されます。



- 飲食店などでお客様が残した食品残渣



未利用食品は従来事業系一般廃棄物として、適正処分されてきました



食品リサイクルは命をつなぐ環

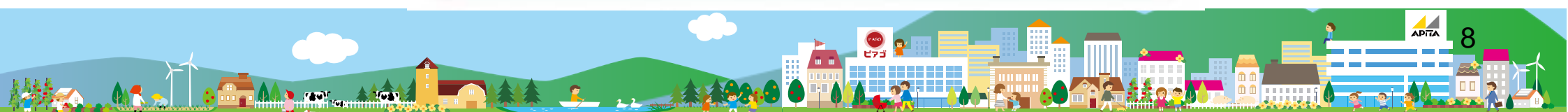
リサイクルループを構築するパートナーシップ

食品関連事業者・再生利用事業者・農業生産者、それぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成し、回り続けられます。



未利用食品を再生資源化する・・・食品リサイクルループ

未利用食品を再生利用する方法として、堆肥や飼料に資源化し、それを使って生産した農畜産物をまた販売する循環型農業、食品リサイクルループを構築するために取り組みました。



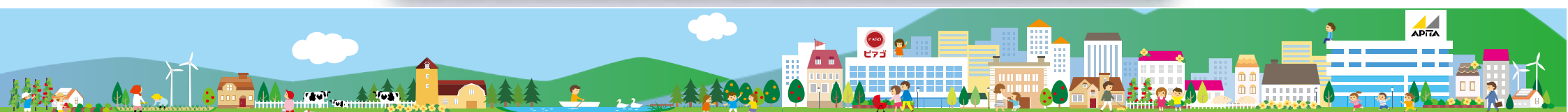
未利用食品を再生資源化する・・・食品リサイクルループ

未利用食品を再生利用する方法として、堆肥や資料に資源化し、それを使って生産した農畜産物を、再び店舗で販売する循環型農業「食品リサイクルループ」の構築に取り組みました。



廃棄物の分別・計量で発生抑制とリサイクル推進を図る

他県の自治体にある店舗から排出する未利用食品を原料に飼料を作り、
それを使って畜産(豚の飼育)をし、販売するリサイクルループを構築しました。



循環型社会を目指して

食品リサイクルループによるメリット

食品リサイクルループはバリューチェーンを確立しているため、トレーサビリティが明確で、生産者の顔の見える安全安心な農作物を消費者に提供できる仕組みです。

地元の農業生産者との協働なので、地産地消の取り組みになる



廃棄物の分別・計量で発生抑制とリサイクル推進を図る

一宮市にある堆肥場で未利用食品(生ごみ)を原料に堆肥を製造します。

子ども達は堆肥場で、未利用食品(生ごみ)が堆肥になるところを見学しました。



出来上がった堆肥は完熟なので、臭いもなく熱くもない、さらさらの土のようです。子ども達は手で触って確かめました。

「野菜クズ」と「魚のアラ」を堆肥場に入れて、発酵させ、堆肥を作ります。発酵するときガスが発生して臭気が強く、子ども達はちょっとびっくり、でも、生ごみを堆肥にしてくれるのは小さなバクテリアです。ガスを出し、熱を出して堆肥を作っています。



廃棄物の分別・計量で発生抑制とリサイクル推進を図る

堆肥をまいた畑で大根の収穫体験をしました。



一人2本抜くことになり、子ども達はどれを抜こうか、真剣に選んで、一番太くてまっすぐな大根を探して、力いっぱい抜きました。



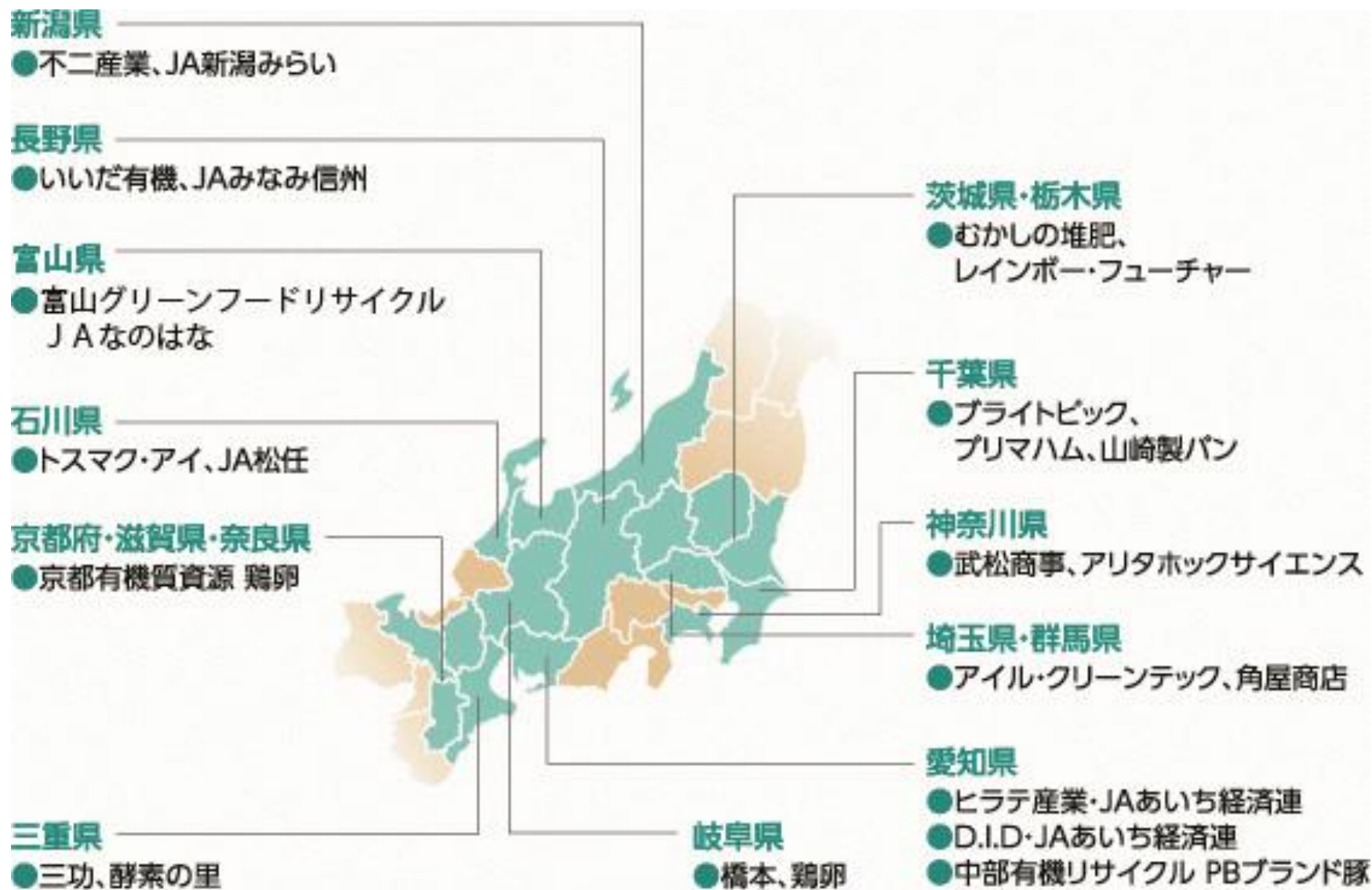
みんな選んで抜いた大根を持ってごきげんです。大根はいえで待っている家族へのお土産。自分で抜いた大根はちょっと自慢です。



循環型社会を目指して

各地で広がるリサイクルループ

営業店舗所在地でリサイクルループを構築



循環型社会を目指して

環境にやさしい容器包装

2014年辞退率……86.0%
 レジ袋枚数68,454千枚 616t
 リサイクル料 1億6,104万円
 関西2県含め全店舗で無料配布中止完了

2016年辞退率……86.1%
 レジ袋枚数63,572千枚 573t

◆レジ袋辞退率の推移



◆レジ袋使用量の推移※1

年度	枚数(単位:千枚)	重量(単位: t)	備考
2007	310,559	1,818	レジ袋無料配布の中止
2008	309,222	1,851	96店舗で無料配布中止
2009	134,678	1,029	170店舗で無料配布中止
2010	116,749	964	約73%の店舗で無料配布中止
2011	111,632	851	四日市市・弥富市などの店舗が加わる
2012	110,743	839	約80%の店舗で無料配布中止
2013	109,528	821	滋賀県、長野県、愛知県全域で無料配布中止
2014	68,454	616	関東8県、関西2県含め全店舗で無料配布中止
2015	63,288	587	全店での無料配布中止を継続
2016	63,572	573	店舗閉鎖などにより使用量は減少

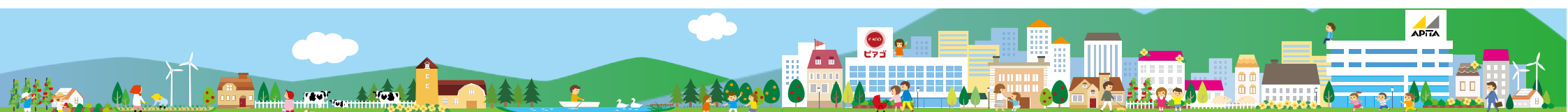
◆容器包装リサイクル法への対応※2

年度	委託金額(税込)
2007	2億9,729万円
2008	2億7,978万円
2009	2億2,272万円
2010	1億6,655万円
2011	1億6,154万円
2012	1億4,868万円
2013	1億5,866万円
2014	1億6,104万円
2015	1億3,557万円
2016	1億2,489万円

※1 2008年にユースストアと合併し80店舗増える

※2 容器包装リサイクル法に基づき、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払った委託金額

※3 全店でのレジ袋有料化を実施したためプラスチック容器包装が大きく削減された



環境にやさしい容器包装

■ 容器包装削減とリサイクルによるCO2削減

- レジ袋を辞退すると、1枚につき30.8gのCO₂が削減できます。

ユニーが2006年に使用したレジ袋 …… 3億3,363万枚

ユニーが2016年に使用したレジ袋 …… 6,357万枚

差引 2億7,005万枚削減 (CO₂は2006年度対比8,318tの削減)

◆ 2016年度リサイクル回収によるCO₂削減量

	回収実績 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
アルミ缶	680,056	5,848,482
牛乳パック	534,436	267,218
食品トレイ	279,441	1,760,478
ペットボトル	2,352,252	8,468,107
合計	3,846,185	16,344,285



- リサイクルボックスで回収すると
アルミ缶1kgで8.6kgのCO₂削減
牛乳パック1kgで0.5kgのCO₂削減
食品トレイ1kgで6.3kgのCO₂削減
ペットボトル1kgで3.6kgのCO₂削減





100年後の子どもも達のために

